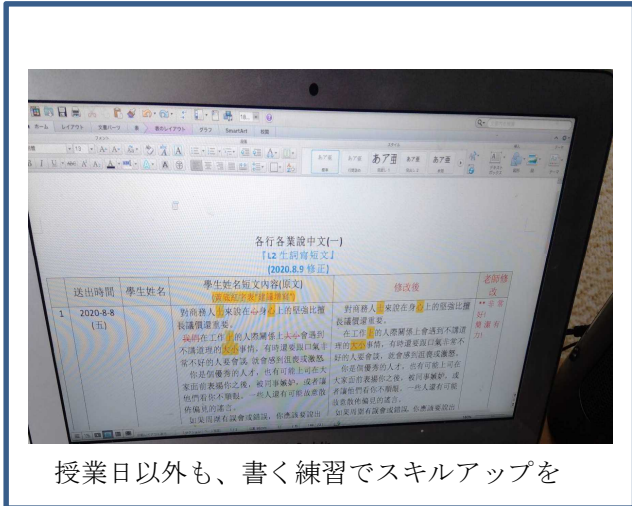


OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



授業日以外も、書く練習でスキルアップを

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) O.S
所属 (School) 経済学研究科経営学専攻
学年 (Grade) 1年
留学先 (Name of overseas institution)
淡江大学 (台湾)
留学期間 (study abroad period)
2020/7/19 ~ 2020/8/16
記入日 (Date) 2020/8/27

留学レポート Study Abroad Report

4月に社会人大学院生になり、このオンライン留学プログラムと出会ったことは、大変幸運なことでした。

大学生の時に、カナダへ約5週間、台湾へ約1年3ヶ月の留学をしたことがありましたが、現在は、仕事をしておりますので、数週間の休暇を取ることは難しく、このような形で再び留学のチャンスが得られるとは想像していませんでした。

今回、私は、主に土曜日や日曜日を利用し、1回2時間のオンラインレッスンを自宅で受講しました。

レッスンは、1対1の個人レッスンで、授業開始日の前に、どのように授業を進めるかの確認のため、先生との顔合わせを行います。

授業は、テキストにある「採用面接」、「入職」、「戦略会議」等の各場面における会話を参考に、最近の出来事や、これまでの経験に基づき、所感や対応策を述べるという形式で進みます。

「どうしても帰りたいのに、上司に残業を頼まれたらどうする?」、「(テキストに示された)利用者アンケートの結果を受けて、何ができると思う?」、「あなたに対して厳しい態度を取る同僚に、どう向きあう?」と、リアリティーのある内容が続きます。

担当して頂いた先生は、中国語教育のスキルは勿論ですが、豊富なビジネスに関する知識と実務経験を備えておられましたので、授業では、語学力だけでなく、ビジネスにかかる思考力も訓練してくださいました。

授業の後は、宿題に励みます。授業で使用された単語を複数使って短い文章を作成する等の宿題は、書くスキルの向上や授業時間以外での学習についても配慮されたものとなっていました。

残念ながら、今回はオンライン留学でしたので、休み時間や放課後に、先生や友人と雑談したり、街へ遊びに行ったりすることは出来ませんでした。

しかし、オンライン留学は、移動時間や滞在費用が不要ですので、大幅に負担を抑えることができます。当然、パスポートを取得する手間もありません。

また、大学の紹介するプログラムですと、チャレンジ奨励金を利用できるだけでなく、学校選びで失敗する恐れも少なく、安心して受講することが可能です。実際、参加に際しては、事前に、何度も国際交流グループと淡江大学中国語センターの担当者の方に連絡をさせて頂きましたが、毎回丁寧なお返事があり、順調に事務的な手続きを進めることが出来ました。

そして何よりも、日常とは異なるオンライン留学の体験は、コロナ禍で自由に移動できない今の時間を充実したものに変わってくれます。暫くこの状況が続きそうですが、今回の経験を生かし、実際に淡江大学へ訪問できる日を楽しみに、これからも中国語の学習を続けていきたいと思えます。